

こおりやま 市議会だより

第211号 - 令和6年12月定例会 -



議場で開催された議会報告会
(令和6年11月10日)

【2、3頁 特集】

議会報告会・意見交換会を開催しました！

【16頁】

議場見学 ～久留米地域公民館きらめき学級～

主な掲載内容

特集	2、3頁
12月定例会の概要	4頁
市政一般質問	6頁
特別委員会	15頁
議会を傍聴してみませんか	17頁
3月定例会開催予定	18頁

令和6年度 議会報告会・意見交換会を開催しました！



令和6年11月10日に市役所西庁舎の議場において、令和6年度議会報告会・意見交換会を開催し、34名の市民の方に参加いただきました。

この議会報告会・意見交換会は令和3年度から始まり3回目の開催で、令和6年度は市議会100周年を記念し、初めて議場で開催しました。

今回は4名の手話通訳者と4名の要約筆記者の御協力と、さらに託児を実施したことにより、多くの方に参加いただき、様々な意見を聴くことができました。



要約筆記者は話している内容をほぼ同時に文字にしてモニターに表示します。

第1部 議会報告会

はじめに、議長より挨拶したのち、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会の各委員長より9月定例会で行った審査内容などを報告しました。

議会運営委員会報告

9月4日に行われた市議会100周年記念議場コンサートの報告や9月定例会の会議日程のほか、決算特別委員会での審査内容などを報告しました。



モニターに資料を投影しながら説明しました。



常任委員会報告

委員会で審査した議案と請願の内容や質疑の内容のほか、議会PDCAサイクル選定事業の審査報告を行いました。



議会の仕組みを紹介するリーフレットを配付しました。



ごみの減量化対策特別委員会報告

設置された経緯、これまでの協議内容や7月3日と4日に行われた参考人との意見交換の内容などのほか、市に対する提言書を作成中であることを報告しました。



36名の議員が参加し、当日の運営や進行は広聴広報委員で行いました。



参加者インタビュー

さまざまな世代の方の意見を聴く機会がなかったので、自分の視野が広がり、とても良い機会でした。



渡辺さん

議員の方々と話す機会は、そうそうないことなので、とても良い経験ができてよかったです。

議員のみなさんが、一生懸命勉強されていると感じ、市民としては、安心して暮らしていけると感じました。



遠藤さん



星槎国際高等学校
郡山学習センター
高橋さん 西村さん
鈴木さん 影山さん

第2部 意見交換会

「次なる100年に向けて、いま、取り組まなければならないこと」をメインテーマに、分科会形式で7つのグループに分かれて、意見交換を行いました。どの分科会でも、多くの意見をいただき、有意義な意見交換となりました。各分科会で出た意見の一部を紹介いたします。

第1分科会【今後充実させるべき子育て支援策について】

- ・郡山に戻ってきたが、保育園に空きがなかった。増設などして入園できるようにしてほしい。

第2分科会【公共交通の新しい形と高齢者の移動手段の確保について】

- ・車いすで路線バスを利用しているが、バスにスロープがあっても、歩道と車道との縁石のせいでスロープが使えないところがあるため、停留所付近の歩道整備をしてほしい。

第3分科会【市内の交通事情の改善について（渋滞対策など）】

- ・開成山付近の渋滞解消を進めてほしい。
- ・自転車通行帯の充実を図ってほしい。

第4分科会【観光客の誘客に向けた取り組みについて（インバウンド含む）】

- ・合同庁舎、公会堂、安積疏水事務所、安積高校旧本館、金透小学校など歴史的建造物を残して観光資源として活用していくのはどうか。
- ・JR郡山駅発着メロディーに「もしもピアノが弾けたなら」を追加してはどうか。

第5分科会【小中学生の運動機会の確保と今後のあり方について】

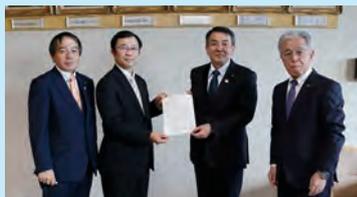
- ・部活動の地域移行を進めるのは良いことだが、指導者の不在や練習場所への移動手段、安全管理の問題など課題が多い。

第6分科会【将来に残すべき施設と新たに作りたい施設について】

- ・旧豊田貯水池をサッカー場や運動施設として活用できないか。
- ・公共施設の案内が館内放送のみで聴覚障がい者にとって不便であるため、手話の案内を増やしてほしい。

第7分科会【これからの広域連携の取り組みについて】

- ・広域圏の情報発信を強化してほしい。障がい者の情報格差が大きく、広域圏の他市町村のイベントに参加できていない。



意見交換会やアンケートでいただいた御意見は、正副議長へ報告し、議会で共有いたしました。今後の市政や議会活動に活かして参ります。

～ 参加者アンケートより ～

<感想など>

- ・意見交換会は議員と話ができるととても良い会だった。
- ・市民の意見を吸い上げて頂ける場をたくさん設けてほしい。
- ・他の参加者の意見も聴くことができ大変参考になった。

<改善点>

- ・報告会は（参加者に）伝わりやすい方法を考えてほしい。
- ・モニターに映した資料の文字が小さくて見えにくかった。
- ・せっかく良い取組みなので、もっと情報を発信して参加者を増やした方が良い。

令和6年12月定例会の概要

乗合タクシー運行事業に要する経費を含む、一般会計補正予算（第5号）や郡山市名誉市民の選定など議案57件を可決

12月定例会を、11月29日から12月16日までの18日間にわたり開催しました。

初日は、会期の決定、諸般の報告に続き、ごみの減量化対策特別委員会から中間報告を受けました。

さらに、市長が提出議案の提案理由について述べた後、郡山市名誉市民の選定に関する人事案件1件に全会一致で同意しました。
5日から10日までは、16人の議員が市政一般質問を行いました。

11日と12日は、4つの常任委員会で付託された議案35件と請願2件を慎重に審査しました。

最終日となる16日の本会議では、各常任委員会から審査結果の報告を受け、賛否が分

かれた議案等について、2人の議員から賛成・反対の討論がありました。

その後、採決の結果、議案33件を全会一致、一般会計補正予算（第5号）など2件を賛成多数で可決したほか、請願2件を賛成少数で不採択としました。

また、追加提出された議案21件のうち、郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任に関する人事案件1件に全会一致で同意しました。

次に、残りの議案20件については、賛否が分かれた議案に関する反対討論が1人の議員からあった後、採決の結果、議案16件を全会一致、一般会計補正予算（第7号）など4件を賛成多数で可決し、全日程を終了しました。

常任委員会の審査状況

総務財政

問 インターネット議会中継を令和7年度から、議会事務局職員の自前によるYouTube配信に切り替えるとのことであるが、これにより、どの程度の経費削減効果が見込まれるのか。

答 運用に係る経費で比較すると、年間でおよそ158万円の経費削減となる。

環境経済

問 総合地方卸売市場は、開設から22年が経過しているが、今後、どのような方針で改修を進めていくのか。

答 総合地方卸売市場は、市民の食料を安定的に供給するための重要な施設であるため、策定する長寿命化計画に基づき、緊急性の高い箇所から順次改修を行っていく予定である。

建設水道

問 デマンド型乗合タクシーの指定目的地等について利用者の声は。

答 今年度は4地区の区長会や連合会の懇談会に参加して利用者等と意見交換を行った。指定目的地や運行時間を見直してほしいとの意見があることから、引き続き意見交換の場に参加して、事業の改善に取り組んでいく。

文教福祉

問 行徳小児童クラブは学校の敷地外に教室が増設されるが、きょうだいと同じ教室に入所できるようにするなどの配慮は考えているか。

答 きょうだいでの入所希望や放課後の特設クラブへの参加等、個々の状況があることから、保護者の意向を確認したうえで、児童と保護者に負担がないよう配慮する。

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。

件名	議決結果	会派の賛否（議長を除く。）									
		志	新	郡	緑	自	日	立	無	立	れ
		翔	政	山	風	由	本	憲	所	憲	い
		会	会	市	会	民	共	民	所	民	わ
		10人	9人	4人	4人	3人	2人	2人	1人	1人	1人
補正予算	一般会計(第5号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	一般会計(第7号)	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
	水道事業会計(第4号)	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
条例制定	行政組織の改編に伴う関係条例の整備に関する条例	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×
条例改正	郡山市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
	郡山市長等の給与に関する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×
請願	湖南七浜利用拠点整備改善計画の撤回を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	2025(令和7)年4月1日付け行政組織改編の延期と農林部の存続を求める請願	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×

全会一致で可決した議案等

補正予算	一般会計(第6号)	郡山市営住宅条例
	特別会計 国民健康保険(第3、4号)、後期高齢者医療(第3、4号)、介護保険(第3、4号)、県中都市計画土地区画整理事業(伊賀河原(第1、2号)、徳定(第1、2号)、大町(第1、2号))、総合地方卸売市場(第1、2号)、熱海温泉事業(第2、3号)、財産区(多田野(第2号)、河内(第2号))、企業会計(水道事業(第2、3号)、簡易水道事業(第1、2号)、下水道事業(第2、3号)、農業集落排水事業(第1、2号))	
条例制定	刑法等の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例	郡山市体育施設条例
条例改正	郡山市立公民館条例	郡山市職員の給与に関する条例
	郡山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例	郡山市一般職の任期付職員の採用等に関する条例
	郡山市農業水利施設等保全再生事業基金条例	郡山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
	郡山市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例	工事請負契約(郡山ユラックス熱海給排水設備改修工事)
	郡山市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例	財産の取得(追認)(教師用教科書、指導書)
		開成山屋内水泳場の指定管理者の指定
		特定事業契約の変更(開成山地区体育施設整備事業)
		郡山市名誉市民の選定(故西田敏行様)
		専決処分の承認を求めること
		郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任

賛否などの詳細は市議会ウェブページを御覧ください。



議案等に対する各議員の賛否



請願文書

令和6年12月定例会

市政一般質問

● 今回の質問者数 16名

● 掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。
また、掲載項目は質問者間で重複しないよう調整しています。

● 記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約してあります。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録

市議会ウェブページや次の施設で御覧いただけます。

- ・ 市政情報センター(市役所本庁舎1階)
- ・ 中央図書館・希望ヶ丘図書館
- ・ 安積図書館・富久山図書館

なお、令和6年12月定例会の会議録が御覧いただけるのは、2月中旬になります。



会議録検索システム

一般質問



新政会

折笠

正

議員

令和7年度予算編成の考え方について

問 どのような考え方に基いて編成作業を行っているのか。

答 厳しい財政状況にある一方で、SDGsの目標年限である2030年を間近に控え、少子高齢化・人口減少をはじめとする将来課題の的確な把握のもと、次世代に負担を残さず次の100年を引き継ぐことができるよう、「ウェルビーイング※都市実現型」課題発見・解決先進都市の創生を目指す予算編成を行っていく。

また、持続可能な都市の実現に向け、昨今の物価高騰に対応し、自主財源及び税外収入の確保・充実を図るとともに、行財政のスリム化や財務体質の強化を図っていく。

※ウェルビーイング：幸せや生きがいを感じられる状態。

民間開発による産業用地整備について

問 地域未来投資促進法の活用により、民間開発による産業用地の整備を、より一層促進すべきと考えるが見解は。

答 地域未来投資促進法は、地域の特性を生かした事業を促進し、地域経済の成長発展の基盤を強化することを目的に施行されたものである。

本市としては、同法の活用は民間開発による産業用地の整備として有効な手法であると捉えていることから、現在造成中の西部第一工業団地と併せ、同法を活用した民間活力による産業用地の整備をより一層促進し、企業誘致に取り組んでいく。



造成中の西部第一工業団地

一般質問



志翔会

本田 ほんだ

豊栄 とよえい
議員



クリーンこおりやま運動について

問 当該運動の開催は、各区の町内会等が担っている認識であるが、町内会や自治会などの団体で継続できない場合、保全・美化活動は市の予算で実施していくのか。

答 当該運動は、県クリーンふくしま運動推進協議会が実施した清掃活動に呼応する形で、昭和59年度から6月と10月の第1日曜日に継続して実施しており、市としては使用するごみ袋の配布や回収したごみの収集などを行っている。また、地域の環境美化については、市民・事業者・行政が協力して行うものと認識しており、今後も、当該運動への自主的・積極的な参加の呼び掛けと環境美化活動への意識の醸成に努めていく。

ペロブスカイト太陽電池の導入について

問 今後、公共施設に敷設する太陽光発電パネルを当該太陽電池にする方針の有無は。

答 当該太陽電池については、国が、大量生産の確立等の課題により本格的な実用化はまだ先としつつも、2030年までには量産体制を構築する方向性を示したところである。本市においては、従来型では設置困難な公共施設への導入可能性について、関係団体等から情報収集しつつ、従来の設置方法の工夫も検討する等、引き続き公共施設への太陽電池の導入を推進していく。



資源エネルギー庁
ウェブサイト

※ペロブスカイト太陽電池：従来のシリコン型より軽量、柔軟、低コストなどの点で注目されている次世代型太陽電池。

一般質問



志翔会

加藤 かとう

漢太 かんた
議員



障がい者の投票率向上について

問 投票率の向上や心理的な不安を取り除くためには、投票手続きや支援制度について理解を深めるプログラムや保護者、地域住民と連携した取り組みが重要と考えるが見解は。

答 投票率の向上には、主催者教育の取組み及び投票環境のハード・ソフト両面での整備が重要と考えており、主催者教育は、広報等での周知・啓発に加え、出前講座の開催等に取り組んでいる。また、出前講座は、保護者や支援者等も参加可能で、支援者と要支援者が共に模擬投票等を体験することで心理的負担や不安の軽減につながると考えており、今後も投票所へ足を運ぶ一助となる取組みを市民と連携し推進していく。

高齢者の防犯対策について

問 高齢者の安全を守るため、市としてどのような具体的な対策を講じているのか。

答 市セーフティコミュニティ推進協議会の防犯対策委員会では、住宅地の犯罪が多いことを重点課題の一つとしており、これまで市内32地区の防犯協会等によるパトロール、「見られていますよ！」ステッカー配布、学校周辺や駐輪場における防犯カメラの試験的な設置等について警察や防犯関係団体と協働で取り組んできた。今後も警察との連携のもと防犯関係団体とも協力し、防犯に対する知識の普及や意識の啓発に継続して取り組む。



「見られていますよ！」
防犯ステッカー

一般質問



郡山市議会公明党

やまね さとし
山根 悟 議員



組織改編に伴うダイバーシティ※への取組みについて

問 令和7年度に男女共同参画課等の組織改編があり、ダイバーシティ推進課を設置することのだが、セクシャルマイノリティの更なる理解増進などについて、新たな部署では、どのような姿勢で取り組むのか。

答 現在の男女共同参画、女性活躍の推進、LGBTQ理解増進、人権の擁護などに継続して取り組むとともに、外国人の増加に対応した地域との共生、若年層と高齢者層の人口差から生じる課題解決、次代を担うZ世代が最大限に活躍できる環境整備等の施策に取り組んでいく。

※ダイバーシティ：多様性を意味し、人種・年齢・性別・宗教・趣味嗜好など様々な違いを持った人々が共存している状態。

市制施行100周年記念楽曲の積極的な活用について

問 市制施行100周年を記念して、GREEN BOYZが歌う「ゼロ年目からのバイナダー」とMANAMIさんが歌う「ひらけみらいへ」の2楽曲が披露されたが、本市のプロモーションにもつながるよう活用に取り組むべきと考えるが見解は。

答 記念楽曲については、主催イベント等に使用するとともに市の公式YouTubeでも公開している。

今後、本市の魅力を発信するイベント等に活用するほか、市役所等の館内放送、防災無線など、様々な可能性を視野に活用を図っていく。



MANAMIさんと100周年プロモーション動画を撮影

一般質問



郡山市議会公明党

たがわ まさはる
田川 正治 議員



带状疱疹ワクチンへの公費助成について

問 本市においては、どのように進めていく考えなのか、本市の財政的負担見込みも含め伺う。

答 国は、現在、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、定期接種化に係る検証・検討を進めている。

本市において、任意予防接種である带状疱疹ワクチンに対し、公費助成を実施すると仮定した場合、中核市の実施状況を勘案し、試算すると、財政的負担も考慮する必要があるものと認識している。

今後、国の動向を注視し、前向きに带状疱疹ワクチンの情報収集に努めていく。



一人暮らし高齢者への終活支援について

問 一人暮らしの高齢者の不安をやわらげ、終活を支援するための取組みをすべきと考えるが見解は。

答 今年度新たに、市成年後見支援センターを中核機関とした地域連携ネットワークを構築し、高齢者等の権利擁護支援体制の強化を図っている。

また、令和6年9月には、身寄りのない高齢者等への支援状況や課題等を把握するため、居宅介護支援事業者等を対象に調査を実施し、金銭管理等に関し困難が生じている実態を確認したところである。

今後、調査結果も踏まえ、身寄りがなく資力が十分でない一人暮らし等高齢者に対する支援事業について、調査研究を進めていく。

一般質問



れいわ虹の会

ふるやま
古山

ゆい
唯 議員



カームダウン・クールダウンスペースの設置について

問 発達障がいを持つ子どもたちが、安心して過ごせたり、自分の感情をコントロールできるとなる手助けともなるので、本市でも当該スペースを設置してはどうか。

答 特別支援学級がある学校では、児童生徒の特性等にに応じて工夫し、一人一人が落ち着く当該スペースを教室内や空き教室等に設置しているところであり、また、教育研修センターに当該スペースを踏まえたモデルルームを設置し、研修会等で紹介している。

今後も、各学校へ整備に努めるよう働きかけるとともに、情報を発信していく。



教育研修センターにあるモデルルーム

保育士の処遇改善について

問 市独自の処遇改善を行うことで保育士不足が解消すると考えるが見解は。

答 厚生労働省の賃金構造基本統計調査によると、県内における昨年度の保育士の平均年収は、全産業の平均年収を16.5%下回り、全国的にも同様であることから、更なる処遇改善が必要と認識している。

保育士の人件費は、民間保育所等の運営に必要な費用を定めた公定価格に含まれるもので、保育士の処遇改善の一環として国が主体的に対応すべきと考えており、今般、国が人件費を10.7%引き上げる公定価格の見直しを行うとのことから、本市としては、国の動向を注視し、詳細が示され次第、適切に対応していく。

一般質問



日本共産党郡山市議団

えんどう たかし
遠藤 隆 議員



市営住宅敷地内の除草について

問 高齢化や入居率低下等により、入居者等による共同施設の維持管理が課題となっており、敷地面積が広範囲に及ぶ場合等には、除草に対し支援すべきと考えるが見解は。

答 公営住宅法第27条及び郡山市営住宅条例第22条で入居者は、市営住宅又は共同施設を正常な状態に維持する義務があると定めており、入居時、敷地内の除草は入居者が行うことを説明し理解を得ている。しかし、入居者だけでは対応が困難な高木、崖地等危険な箇所は、除草や剪定の支援をしており、

今後も、同様の支援を実施していく。



市営住宅敷地（緑ヶ丘）

多文化共生の推進について

問 人口減少等が社会問題となっている中、市では現在、外国人住民が3千人を超え、今後も増加していくと思われるが、どのような方針で多文化共生を進めていくのか。

答 令和6年6月21日公布の外国人の育成就労の適正な実施及び育成就労外国人の保護に関する法律（通称、育成就労法）が公布日の3年以内に施行されることにより、外国人住民が更に増加すると予想されることから、外国人住民が地域の一員として安全・安心に暮らしていけるようニーズ把握に努めるとともに、関係団体と連携し、ウエルビーイング都市・郡山の実現に向けて、多文化共生の取組みをより一層推進していく。

一般質問



緑風会 名木 なぎ
敬一 けいち
議員



国道288号バイパスと内環状線
接続部の渋滞対策について

問 国道288号富久山バイパス4車線化に先行して、内環状線との接続部の交差点改良など、渋滞緩和を図る対策が必要と考えるが見解は。

答 事業主体の県に対して、暫定2車線段階での改善を要望し、昨年度の応急的処置により混雑緩和が一部図られた。当該区間周辺では大規模開発に伴う交通集中が想定されるため、県と公安委員会との交差点協議において、完成までの段階別で交通混乱等が生じないよう要望しており、今後、早期完成に併せ、本市との情報共有や周知拡大についても要請していく。



渋滞悪化が懸念される接続部

宝来屋郡山総合体育館の柔道場・剣道場の利用について

問 総合体育館でプロスポーツの試合等が開催されていると、柔道場・剣道場がなかなか思うように利用出来ないとの話を聞く。

答 トップスポーツの公式戦等の開催時においても、柔道場・剣道場の利用者とトップスポーツの観覧者との動線を確認しながら、双方の利用ができるよう、現在、指定管理者と運用について協議を行っている。

事業者から報告される開成山公園の利用者数について

問 開成山公園等ParkierPFI事業における大楽都祭を含む催事の自主事業の現在の状況は。

答 当該事業における自主事業の実績としては、令和6年9月定例会の常任委員会において大楽都祭開催日における公園全体の利用者数を、指定管理者の報告書におけるビッグデータから推計した約2万8千人と報告したが、今回の質問を受け、本市が別のシstemで推計した同日の公園全体利用者数の約8千100人とは大きく異なっていたことから、現在、指定管理者側へ算出根拠等の確認を行っている。



一般質問



立憲民主党 吉田 よしただ
公男 きみお
議員



入札への不正対応について

問 官製談合ではないかとまで言われている今回の事件を直接監督責任者である副市長への厳重注意にとどめたが、市の最高責任者である市長は自分の責任をどのように認識しているのか。

答 信用失墜行為を行い、職員全体の信用を傷つけた3名の職員について、地方公務員法の規定に基づき、市長が懲戒処分を行った。

さらに、管理監督の立場にある職員が当事者となったことを重く受け止め、再発防止の徹底が急務であることから、市長が特別職、部局長全29名に対し直接訓示を行うとともに、担当副市長に対し、部下職員への指導を徹底するよう厳重に注意したところである。

一般質問



志翔会

もりあい
森合

ひでゆき
秀行 議員



今後の防災士養成のあり方について

問 令和6年に、防災士養成研修講座から防災士資格取得助成金制度に変わったが、あまり活用されなかった場合、研修講座に戻す、あるいは学生の防災士養成を進め、かつ市内専門学校等に養成事業を委託するなど、今後も防災士の養成を図るべきでは。

答 防災士養成研修実施機関と今後の講座実施に係る情報交換を行うとともに、市内の大学、専門学校、自主防災組織、事業者等と意見交換を行いながら、当該助成制度の更なる周知と活用を図っていく。県が次年度も防災士養成講座を開催する予定としており、県とも連携しつつ、あらゆる方法を検討し、より効果的な防災士養成を推進していく。

日本遺産を活かした観光誘客について

問 継続認定された日本遺産「未来を拓いた『一本の水路』」について、今後の観光誘客にどのように活かしていくのか。

答 本市では、日本遺産構成文化財等を巡るイベントの実施や、市長が会長を務める協議会で教育旅行の誘致に向けガイドブック試行版を制作し、教育関係者向けモニターツアーを開催するなど、継続的に事業を推進している。

今後も、民間事業者と連携した周遊観光事業の実施やJICA外国人研修員の視察研修を通じたインバウンドの拡大など、国内外の観光誘客を推進していく。



構成文化財の1つである大久保神社（安積町）

一般質問



新政会

あいた
會田

かずお
一男 議員



オンライン診療の推進について

問 待合室での感染症への感染等、リスクを避けるため、医療機関の協力を得て当該診療が可能な診療科目から始めることができるよう、市がリードすべきと考えるが見解は。

答 令和5年6月に厚生労働省が出した「オンライン診療その他の遠隔医療の推進に向けた基本方針」で、当該診療の期待される役割として通院に伴う患者の負担軽減等が示され、有効な地域医療提供体制の一つと認識している。

医療機関から実施要望等があった場合は、郡山医師会等の関係機関と連携し、適切に対応していく。



孤独・孤立対策について

問 過剰な個人情報保護による支援への弊害等、単身高齢者等の支援の課題を把握し、解決する場として地域協議会の設置が予定されているが、どのような役割を担うのか。

答 孤独・孤立対策推進法が令和6年4月1日に施行され、内閣府に孤独・孤立対策推進本部が設置された。

地域協議会は、法第15条でその設置が地方公共団体の努力義務とされ、対策の推進に必要な連携及び協働を図るため、単独の市町村又は広域のエリアにおいて、当事者等への支援に係る関係等によって構成されるものである。今後は、関係部局と相談し、地域協議会が真の目的を達成できるよう、努力していく。

一般質問



自由民主党郡山市議団

むらかみ じゅんいち
村上晃一 議員



東部地区の地区計画について

問 市都市計画マスタープランでも東西の均衡あるまちづくりを掲げている中、積極的に東部地区への地区計画を誘導すべきと考えるが見解は。

答 市市街化調整区域地区計画運用指針の改定で、立地ポテンシャル活用型の対象地区の条件に、国道288号や美術館通り等を追加し、東部地区における開発可能エリアの拡大など、規制緩和を図るとともに、市内外の企業や不動産・建築関係機関への説明会等、制度の周知に努めてきた。
また、多様な都市機能の立地が可能となるよう、用途地域の見直し等を検討するとともに、既存集落内の一戸建て住宅等の建築規制の緩和に向けた条例化を進めている。

橋りょうの定期点検について

問 橋りょうの老朽化は、異常気象が進む中で理論を越えて加速することが予想される。従来の手法により、予算と整合性が取れる形で点検が行われるのか見解は。

答 本市管理の全815橋を対象に、2回の点検を実施した。今後も、従来の国の要領に基づく点検手法に加え、ドローンやAIによる画像解析などの新技術の活用等について、適正なコストの比較をしながら、財政負担の軽減に努めた効率的な点検を実施していく。併せて、防災・減災、国土強靱化推進のための財源確保を国に強く要望していく。



橋梁長寿命化修繕計画

一般質問



新政会

いしかわ
石川

ぎわ
義和 議員



民間事業者等への分煙施設整備助成について

問 国は積極的に分煙施設整備に取り組むことを要請しており、本市も民間事業者への分煙施設整備の助成制度を設けるべきと考えるが見解は。

答 施設の管理権原者が判断するものであることから、分煙施設整備の助成制度の創設は予定していない。
厚生労働省では、健康増進法で定める既存特定飲食施設が喫煙専用室の設置・改修等を行う場合、費用の一部を助成する受動喫煙防止対策助成金制度を2011年10月1日から設けており、本市では当該制度についてウェブサイトで周知に努めている。



東京都内の分煙施設

市バス運行対策費補助金による支援について

問 公共交通を抱えている事業者は大変厳しい環境下であり、自治体としての補助金の投入が必要と考えるが、市補助金の運用や今後の支援方針について伺う。

答 市バス運行対策費補助金交付要綱に基づき、バス事業者が自身で維持することが困難な路線で、市民の生活に必要な交通手段として、当該路線の維持を必要と認める路線等の対象16路線に対して交付している。
2024年問題なども顕在化し、各社とも厳しい経営状況にあるものと認識しており、今後も、引き続き、バス運行に係る補助金等の支援を行うとともに、事業者への支援のあり方について検討していく。

一般質問



志翔会 久野 ひさの

三男 みつお 議員



農工商部への改編意図について

問 観光政策を軸にした農林部と産業観光部の連携は、これからが大事だと考えるが、今回の観光政策課を除いた農工商部の新設の意図は。

答 観光政策課の文化スポーツ部への移管は、同部が所管する観光資源としてポテンシャルの高い施設やイベント、文化財等に加え、開成山地区体育施設の再オープン等が予定されており、これらと既存の観光資源を一体的に組み合わせることで、観光客のより一層の増加が期待できるため実施する。観光産業の活性化が、雇用創出や農産物等の生産拡大につながる、農工商部が行う施策へも効果をもたらすことが期待できる。

弔意を表せる機会について

問 湯浅譲二さん、西田敏行さん、中村よねさんが逝去され、本市に常に心を寄せ、愛し続けてくれた偉大な先輩方の逝去は大変悲しく思う。

偲ぶ会などの市民総意としての弔意を表せる機会に本市が主体で取り組む考えは。

答 故人を偲ぶ会等の市民総意の弔意を表せる機会に本市主体で取り組むことは、遺族や関係者の意向を丁寧に伺い、生前の本人の希望を十分に理解することが、社会通念上適切であると考えていることから、市民の意見を聴きながら対応について検討していく。

一般質問



立憲民主党郡山

八重樫 やえかし

小代子 さよこ 議員



認知症施策推進計画について

問 市認知症施策推進本部設置要綱に推進計画の作成等が明記されていることから、推進計画を策定すると考えるが、今後のスケジュールは。

答 本市では、国の認知症施策推進基本計画を踏まえ、県の計画策定の動向を注視しながら推進計画を策定する。また、策定にあたっては、誰もが認知症になり得ることを前提に、認知症の人を含めた国民一人一人が、認知症と共に希望を持って生きるという新しい認知症観に立ち、国や県と歩調を合わせるとともに、これまで本市が進めてきた認知症関連事業等との整合を図りながら、認知症の人や家族の意見も幅広く取り入れ、検討を進めていく。

市公共施設のLED照明設置の状況及び今後について

問 一般照明用蛍光灯の製造・輸出入が2027年までに段階的に廃止される蛍光灯の2027年問題に伴い、公共施設のLED照明への切り替えの現状及び今後について伺う。

答 本市では、令和3年3月に「令和12年度末までに、LED化率100%を図る。」としており、令和6年3月31日現在で、市の公共施設808施設のうち、254施設、全体の約31%でLED照明の導入が完了しているところである。

今後も、令和12年度末の完了を目途に、計画的な公共施設のLED化を進めていく。



フロンティア大使ウェブサイト



今年度中にLED化予定の喜久田ふれあいセンター

一般質問



無所属の会

やない
筋内

よしひこ
好彦 議員



障がい者、高齢者、子どもたち等に対する配慮について

問 3月にオープンする市歴史情報博物館では、障がい者や高齢者、子どもたち等に対し、どのような点に配慮して運営する計画でいるのか。

答 聴覚障がい者への手話通訳や字幕付き動画、視覚障がい者への音声コードを活用したガイド、高齢者への車いす貸出し等のほか、大文字表示による分かりやすいコンテンツを導入することとしている。

さらに、子どもたちへは、デジタル技術を活用した体験型展示やアニメーション動画の導入、外国人対応としてQRコードを活用した展示物の多言語解説を検討している。



3月15日にオープン予定の市歴史情報博物館

健診医の確保について

問 こども家庭庁が公開している「5歳児健診ポータル」では、地区の医師会等へ5歳児健診への協力を依頼するようアドバイスしているが、当アドバイスのような点を本市は参考としているのか。

答 ポータルに掲載されている、5歳児健診実施自治体アンケート結果においては、小児科医による診察が88.7%となっている。

また、2022年の統計では、県の小児科医数は、10万人あたりの医師割合で全国40位という状況にある。今後も、これらを参考に医師の確保や実施方法等について郡山医師会と協議していく。

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～



	請 願	陳 情
受付	市政一般質問初日の午後5時まで ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時まで ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●陳情書の写しを各議員に配付します。

請願書

年 月 日

郡山市議会議長様
(請願者住所)
(請願者氏名)※
(紹介議員)

〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

紹介議員が
必要

紹介議員は
不要



陳情書

年 月 日

郡山市議会議長様
(陳情者住所)
(陳情者氏名)※

〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項

※氏名は、署名又は記名押印が必要です。

ごみの減量化対策特別委員会活動報告

■当局説明

令和6年10月4日開催の委員会では、提言書案の作成にあたり、再度、5R推進課と資源循環課より説明を受けました。

今回は、第4回特別委員会（令和6年2月9日開催）の当局説明時からの変更点や追加事項について報告等を受けました。

また、参考人招致や行政調査を経て気づいた疑問点や課題などについて意見交換等を行いました。

■提言項目に係る協議等

令和6年10月25日開催の委員会では、前回までの協議等をもとに市へ提出する提言書案を作成し、種々質疑を交わしました。

令和6年11月22日開催の委員会では、前回の協議で出た意見等を踏まえ、修正した提

言書案をもとに、引き続き具体的な提言内容について協議しました。



提言書案について意見を述べる委員

特別委員会の様子

委員会の活動状況は、市議会ウェブページで随時お知らせします。



特別委員会ウェブページ

市議会ウェブページを見てみませんか



郡山市議会のウェブページでは、本会議や委員会の会議録、市議会中継のほか、定例会日程など様々な情報を発信しております。

詳しくは郡山市ウェブサイト、右上のQRコード、または、「郡山市議会」で検索してください。

議会運営委員会行政調査レポート

■日程 11月11日～13日

■視察先自治体（事業名等）

・東京都板橋区（閉会中の常任委員会の運営、決算特別委員会の運営）

・兵庫県西宮市（議会改革の取組み）

・三重県鳥羽市（予算決算特別委員会と所管事務調査における提言、TOBAMミライトーク、通年会期）

■レポート

板橋区では、常任委員会を閉会中にも開催し、所管事務調査を行い、区政に関する調査研究と情報収集の取り組みの強化を図っていました。



質疑を交わす委員
(板橋区)

西宮市では、常任委員会正副委員長の役割等を常任委員会ガイドラインに定め、所管事務調査の方法、委員長と当局との事前打ち合わせなど、

効果的・効率的な委員会運営について明文化し、より質の高い議論の場の整備を目指していました。

鳥羽市では、鳥羽市議会議長をはじめ8名の議員から、議会改革の経緯や思いも含め説明いただき、所管事務調査や予算決算特別委員会における調査の結果をそれぞれ提言書として、市長へ提出し、積極的な政策提言に取り組んでいました。

また、TOBAMミライトークでは、市民の持つ課題を共に考え、多様な市民意見の反映を目指し、方法を見直しながら充実を図っていました。



鳥羽市議会議員より説明を受ける委員

議場見学を開催しました

議会をより身近に感じることができるとして、広聴広報委員会に所属する議員が、議会の仕組みや議場を紹介しています。

11月14日に、久留米地域公民館きらめき学級の議場見学が行われました。

前半は、議会の役割や仕組みなどの説明を受けました。後半の模擬議会では、市長役・議長役・議員役に分かれ、議長役の進行で、市長役がごみを減らすことについて、地区球技大会と運動会のあり方についての2つの議案を提案し、議員役は各議案について電子採決を行いました。



模擬議会にて提案理由を読み上げる市長役

■議場見学の内容

①市議会のはなし
本市議会で発行しているリーフレット「市議会のはなし」を見ながら、議会について説明します。

②模擬議会

事前に参加者が身近にある課題や要望などから議案を準備し、議事の進行、提案理由の説明、電子採決を体験します。

③議場内の見学

④質疑応答

■議場見学の申込
議場見学の申込は、随時受付しています。

なお、定例会（3月・6月・9月・12月）や臨時会など、議場見学の受入れができない場合がありますので、詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。



議会を傍聴してみませんか？



本会議や常任委員会、議会運営委員会、特別委員会はどなたでも傍聴することができます。どこにいけばいいのか、どのような手続きが必要なのかなど、傍聴について紹介します。

議会を傍聴したいと思ったら…

傍聴は、本会議・委員会どちらも予約制ではなく、事前申込の必要はありません。本会議の傍聴は西庁舎7階、委員会の傍聴は西庁舎6階の傍聴受付に直接お越しください。手話通訳・要約筆記が必要な方は、議会事務局へご相談ください。傍聴受付で、傍聴券に日付、住所、氏名を記入して、傍聴券を受け取ったら受付完了です。

ちょっと豆知識

団体に傍聴をする場合は、住所と氏名を記載した名簿を提出すると、当日代表者1名のみので受付で済み、受付手続きがスムーズです。



	本会議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始30分前から	会議開始40分前～20分前
定員	74人 ※先着順	各委員会15人 ※定員を超えた場合は抽選

本会議の傍聴



本会議の傍聴は西庁舎7階の傍聴受付へ。傍聴受付ロビーでも議会中継を流しています。



ロビーの奥へ進むとトイレとエレベーターがあります。このエレベーターは傍聴席へ行くためだけのエレベーターで、本会議の開催日に稼働しています。



傍聴席に設置してあるモニターには、話している人の姿と話す内容の字幕表示や、質問者が用意した画像資料が映し出されます。

委員会の傍聴



委員会の傍聴は西庁舎6階の議会事務局にある傍聴受付へ。傍聴を希望する委員会の傍聴券を記入してください。



入室案内があるまでは、市議会だよりや会派広報紙を読みながら、退会は自由です。入室案内がない場合は、職員案内により中に入りますが、退会は自由です。近くでお待ちください。

傍聴終了後は、傍聴券を受付に返却してお帰りください。市役所駐車場※ご利用の場合は、駐車券も一緒に提示ください。

※2024年4月より市役所駐車場がゲート式の有料駐車場になりました。2時間以内は無料ですが、傍聴をして2時間を超える場合は無料になる手続きを案内します。



3月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
			2/19	20	21	22
			本会議（開会）	議案調査		休会
				※陳情締切		
23	24	25	26	27	28	3/1
休会	休会	事務整理日 （休会）	本会議（市政一般質問）			休会
			※請願締切			
2	3	4	5	6	7	
休会	本会議 （市政一般質問）	常任委員会		事務整理日 （休会）	本会議（閉会）	

- ・正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更になる場合があります。
- ・本会議の様子を市議会ウェブページから生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。
- ・録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く。）から公開します。

市議会中継



スマートフォンやタブレットで 市議会情報ゲット!

1 定例会情報等を「LINE(ライン)」でゲット

- ・定例会の日程や議会中継の案内
 - ・市議会イベント
- などお知らせします。



←こちらからアプリをダウンロード、
市公式アカウントを登録

2 議会だよりを「マチイロ」でゲット

議会だよりのほかにも、広報こおりやま、県広報紙、他の自治体の広報紙も読むことができます。



←こちらからアプリをダウンロード、
郡山市を地域登録

ちょっと豆知識

あれ…3月定例会の開催予定、いつもと違うような?と感じたあなたは、かなりの郡山市議会通!

実は令和7年の3月定例会はいつも行われる「代表質問」がありません。

その理由は...

4月に市長選挙が行われるから

本市議会の代表質問は、所属議員2名以上の会派が市政方針や市長の提案理由に対して問うもので、通常3月定例会で行っています。しかし、今年のように市長の任期が満了する場合には、選挙後に就任した市長が初めて招集する定例会において代表質問を行うこととしています。

よって今年は6月定例会で代表質問が行われますので、ぜひ傍聴してみてください。

編集 後記

11月10日午前10時から、市役所西庁舎7階の議場等で「議会報告会・意見交換会」を開催しました。表紙写真は、議場で行った議会報告会で、直近で行われた9月定例会の内容などについて、議員より説明しました。また、続く意見交換会では、7つの分科会に分かれて、「次なる100年に向けた」現状と課題、展望について、活発な意見交換が行われました。参加された皆様ありがとうございました。

郡山市議会は市民の皆様の声とともに、これからも歩み続けます。（加藤）

市議会だよりに対する御意見、御感想は議会事務局総務課まで
TEL024-924-2521 メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp
印刷/株式会社やまと印刷
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

紙へリサイクル



古紙/パルプ配合率60%再生紙を使用



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。